

各位

2004年7月23日

日立電線株式会社
(コード番号 5812)
住友電気工業株式会社
(コード番号 5802)

高圧電力用電線の国内電力会社向け販売事業の
株式会社ジェイ・パワーシステムズへの移管・統合について

日立電線株式会社(社長 佐藤教郎、以下「日立電線」)、住友電気工業株式会社(社長 松本正義、以下「住友電工」)及び株式会社ジェイ・パワーシステムズ(社長 三條楠夫、以下「JPS」)の3社は、日立電線、住友電工の両社がそれぞれ手がけている高圧CVケーブル、ACSR、高圧配電線等(以下「高圧電力用電線」)の国内電力会社向け販売事業に関し、需要の減少傾向を受け、より一段のコスト合理化を目的として、JPSに移管・統合することの検討を進めてまいりました。

これと並行して公正取引委員会に対し、本件統合の独占禁止法上の問題の有無について、詳細審査を受けてまいりましたところ、このたび、公正取引委員会より、本統合は競争を実質的に制限することにならない(独占禁止法上の問題とならない)とのご判断を頂きました。

* 公正取引委員会のご判断については、本日15時、同委員会より発表されています。

この公正取引委員会のご判断を受けて、日立電線と住友電工の両社は、高圧電力用電線の国内電力会社向け販売を、本年10月を目途に、JPSに移管・統合することと致します。今後、3社の担当役員をトップとする委員会により、移管・統合に向け調整を行う予定です。

尚、電力会社を除くその他の国内ユーザー向け販売事業は、引き続き日立電線、住友電工がそれぞれ手がけてまいります。

以 上

<本件に対するお問い合わせ>

日立電線株式会社	総務部広報グループ	TEL : (03)5252-3261
住友電気工業株式会社	広報室(東京)	TEL : (03)3423-5221
	広報室(大阪)	TEL : (06)6220-4119

<語句説明>

[1] CVケーブル (Crosslinked Polyethylene Polyvinyl Chloride、架橋ポリエチレン絶縁ビニルシースケーブル)

ケーブルの絶縁体として、ポリエチレンを架橋し分子を網目状構造としてポリエチレンの欠点であった熱軟化性能を大幅に改善した架橋ポリエチレンが使用されています。このケーブルは600V～500kVの広い電圧範囲で使用されており、ビル・工場の配線や配電線路、都市部の地中送電線路他に広く使用されています。

[2] ACSR (Aluminum Conductor Steel Reinforced、鋼心アルミより線)

中心に亜鉛めっき鋼線をより合わせ、その外側に硬アルミ線をより合わせた、絶縁被覆をしない裸電線です。高い鉄塔に架設される架空送電線に使用されています。

<株式会社ジェイ・パワーシステムズの概要>

- (1) 事業内容： 送配電用電力ケーブル・架空送電線及びそれらの付属品、関連システムの研究、開発、設計、製造、工事、及び輸出
- (2) 設 立： 2001年7月
- (3) 資 本 金： 40億円
- (4) 売上高： 521億円(2003年度)
- (5) 出資比率： 日立電線 50%、住友電工 50%
- (6) 従業員数： 約900名
- (7) 代 表 者： 代表取締役社長 三條 楠夫
- (8) 本 社： 東京都港区三田 3-13-16 三田 43MT ビル
- (9) 事 業 所： 豊浦事業所(茨城県日立市)、日高事業所(茨城県日立市)、
大阪事業所(大阪市此花区)
東京工事センター(東京都大田区)、大阪工事センター(大阪市此花区)